

# 長寿命化修繕計画策定

## 長寿命化修繕計画策定

### 1) 長寿命化修繕計画策定の背景と目的

#### 背 景

高齢化する橋梁群の管理に際し、予防的な修繕と計画的な架替えにより費用を縮減することを目的とした修繕計画である。コストを最小化する個別橋梁の対策内容点検時期、対策時期等を計画としてとりまとめ策定する。なお、耐震補強対策、耐荷重対策等を加味し、予算や事業規模（橋梁単位や路線単位）によって実状に沿った計画とする。

川棚町で今年度長寿命化修繕計画の対象となる橋長15m以上の橋梁は、7橋である。橋長が60mを超える橋梁は5橋である。全体の約60%が供用年数20年以下の新しい橋梁であり、現時点では橋梁年齢は若い。

今後は橋梁の高齢化が進む対象橋梁に対して、従来の事後保全型の維持管理を継続した場合、維持管理コストが増加することになり、厳しい予算制約の中で安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが困難となる恐れがある。

#### 目 的

今後、高齢化する橋梁の維持・修繕費用の増大に対応するため、従来の対症療法的な修繕及び架替えから予防的な修繕および長寿命化修繕計画に基づく架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架替えに係わる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

## 2) 地域特性



### ・地域特性

長崎県のほぼ中央にある川棚町は、大村湾に面している。町の面積は約37.2 km<sup>2</sup>で、北部は佐世保市、南部は東彼杵町に接している。

川棚川が、虚空蔵山を源として西側に流れ、町の中心部をって、大村湾に注いでいる。

### ・橋梁環境

川棚川の下流域は大村湾からの北西風により塩害を受けやすい。橋梁の全てが川棚川およびその支流の河川橋梁であり、比較的橋長の長いものが多い。供用年数40年以上を経た橋梁はない。

### 3) 橋梁の状況

#### ・川棚町管内の橋梁位置図



#### 【川棚川流域橋梁群】

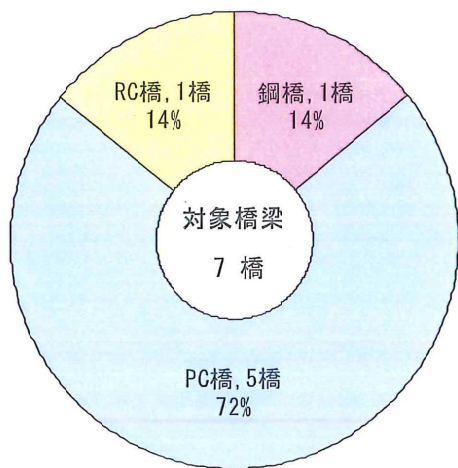
- ・川棚川にかかる河川橋  
(川棚橋, 倉本橋, 麻生瀬橋, 勿田橋, 中田橋, 5/7橋)

#### 【川棚川支流域橋】

- ・川棚川の支流で猪乗川・石木川にかかる河川橋  
(赤岩橋, 谷口橋 2/7橋)

・対象橋梁の内訳

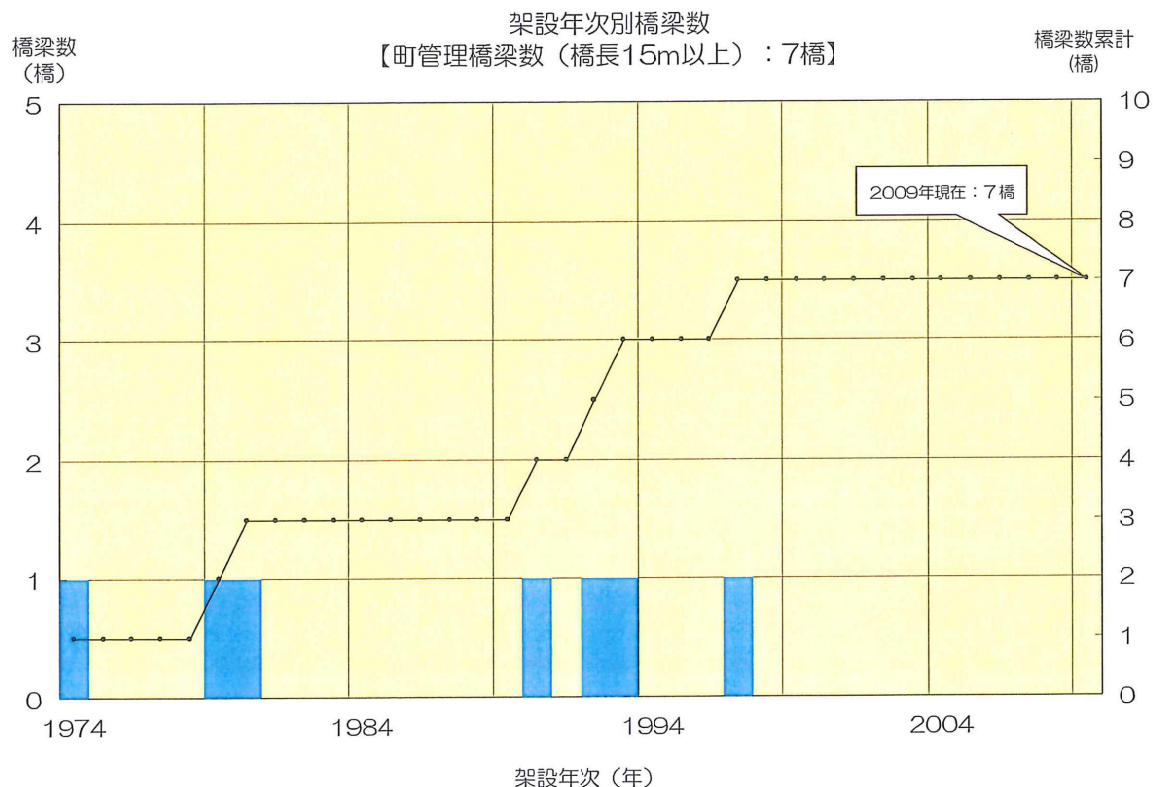
長寿命化修繕計画対象橋梁全7橋について、橋種別（鋼橋、PC橋、RC橋、その他）の橋梁数と架設年次について分析を行っている。



PC橋	:	5橋	,	72%
RC橋	:	1橋	,	14%
鋼橋	:	1橋	,	14%
その他	:	0橋	,	0%

橋種別の橋梁数（橋）

対象橋梁の半数以上がPC橋（プレストレストコンクリート橋）である。



・供用年数20年以内の橋梁が約60%を占める。